

# 西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第299号 平成9年11月



安富一夫

## 目 次

	頁		頁
1. パネルディスカッション		5. 地区だより	
「糖尿病」開催される 小机敏昭 …	2	青梅医師会勉強会報告 広報部 …	12
2. 理事会報告	広報部 … 4	6. 新人紹介	
3. 会員通知・医師会の動き	事務局 … 8	蓼 沼 翼会員 ………………	13
4. 各部だより		7. 伝言板	広報部 … 14
学術インフォメーション 学術部 …	10	8. お知らせ	事務局 … 14
		9. 表紙のことば	安富一夫 … 15
		10. あとがき	田村啓彦 … 15

## パネルディスカッション「糖尿病」開催される

第3回パネルディスカッション「糖尿病」－（テーマ）「糖尿病と血管障害」が10月18日（土）、あきる野ルピアホールで開催された。医師はもとより、保健婦、看護婦、保健所・市町村健康福祉関係者、歯科医師、薬剤師、栄養士など地域の医療・保健・福祉関係者100名以上が参加、これだけ幅広い職種の方々が参集したことは大変意義あることで、それぞれの立場から熱心な討論が行われたことで主催した西多摩医師会の地域での役割が果たせた感じを受けた。

まず最初に、虎の門病院循環器センター外科部長 幕内晴朗氏の特別講演「冠動脈外科と糖尿病」を聞き新しい知識を習得、終了後宮川栄次会長の謝辞が述べられ、引き続き5人のパネリストの講演、パネルディスカッションが行われた。

特別講演の幕内氏は、「冠動脈バイパス手術症例の30%に糖尿病合併、糖尿病合併患者は非合併例に比べ、無症候性心筋虚血・心筋梗塞が多い、多枝病変が多い、冠動脈の石灰化を起こしやすい、PTCA後の再狭窄が多い、心不全を伴うことがよくみられる、左主冠動脈病変が多い、心筋梗塞再発率が高い、冠動脈バイパス手術は動脈グラフト導入で95%以上の開存率になった、術後創感染を起こしやすい、術前無症候性多発性脳梗塞のチェックが必要」など現状につき詳細に説明し、手術の安全性を訴えた。

原 義人氏（青梅市立総合病院内分泌代謝科）は、自施設における糖尿病性血管障害の統計を報告、死因からの分析、大血管障害の合併状況を説明、「突然死、特に心原性のものが多く、虚血性心疾患のスクリーニングが大事、また高脂血症合併時の治療も重要」と強調した。

栗原一浩氏（福生病院神経内科）は、「無症候性脳梗塞と糖尿病の関連はないこと、糖尿病患者における脳梗塞は穿通枝、特にラクナ梗塞が多い、血圧の適切な管理が重要で下げすぎないことが必要」と述べられた。

田中穂積氏（青梅 田中医院）は、自院の糖尿病患者心疾患合併率を調査、「循環器疾患の合併が多く、循環器薬使用時糖尿病に悪影響を与える薬剤があるので注意が必要、冠動脈疾患の予防は糖尿病の早期発見と確実な血糖コントロール」と報告した。

関谷美紀氏（羽村市役所健康課保健婦）は、「生きる気力の低下した単身糖尿病患者（52歳、インスリン注射治療）の1事例」を通して、関係機関の連携の大切さと在宅療養上の今後の問題点を提起した。

今井まち子氏（青梅市立総合病院東3病棟）は、糖尿病患者専用病床設置と教育入院の現状を説明、糖尿病入院患者の下肢皮膚異常病変の調査結果を報告、「足の小トラブル発見の重要性」を訴えた。

今回の出席者はとても活発で、幕内氏への質問、各パネリストへの質問が各方面から多数寄せられ、それぞれがかかえている様々な疑問点・問題点が明らかになった。パネルディスカッション

の前半は医療面に関して、後半は保健・福祉面に関して討議が行われた。医療面では、「冠動脈バイパス手術と動脈グラフト・静脈グラフトについて、高脂血症合併時の治療、突然死を起こしやすい人、脳梗塞発症後の高血圧の適正なコントロール、適正な血糖コントロール」などにつき質疑応答があり、保健・福祉面では、関谷氏の1事例を中心に討議がかわされ、もっと保健所・市町村の保健婦等へ積極的に連絡をとり活用してほしい事、各関係機関の連携を深めるための調整会議の重要性などにつき色々な意見が寄せられた。特に西村会員（福生）から、公的介護保険導入後の問題点、老人年齢に達していない case の公的サポートシステムの支援に関する問題点などが指摘され、今後医師会が積極的に検討、対応すべき課題として強調された。

今回のパネルディスカッションを終了して感じたことは、西多摩地域の医療・保健・福祉関係者が積極的に発言し、意見を言える地盤ができてきていること、皆が熱心で積極的に物事に取り組んでいること、将来すばらしい各機関の連携が取れることが予想できた事である。さわやかな会であった。

(司会担当：学術部 小机敏昭)



**理事会報告**

★ Information

**10月定例理事会**

平成9年10月8日

西多摩医師会館

**【1】 報告事項****(I) 都医地区医師会情報担当事連絡会報告**

(樋口理事)

9月25日(木) 都医会館会議室にて開催された。東京都医師会のインターネットホームページの開設準備の進行現況について説明があり、本年中の開設に向けて目下準備中であり、各地区医師会でも情報伝達の効率化に向け、インターネットでの情報交換できるように努力してほしいとの話があった。又全国医療情報システム連絡協議会を11月15～16日と日医大講堂にて開催するので、興味のある方は出席をお願いするとの事であった。

**(II) 各部報告**

(担当部長)

(学 術) 10月18日(土) あきる野ルピアで「糖尿病」のパネルディスカッションを行う。市町村の保健所を通じて一般へ広報はかなり行き届いているようだ。会員の出席をお願いしたい。

**(III) 各地区会よりの報告**

(各地区長)

(青 梅) 10月13日に地区会予定。

(福 生) 臨時総会前に地区会開催を予定。

(羽 村) 臨時総会前に地区会開催を予定。

10月10日羽村市健康フェアに羽村三師会として参加予定。

(あきる野) 10月17日阿伎留病院将来構想検討委員会第一回会議に医師会代表委員3名出席予定。

(瑞 穂) 介護保険の判定会議に医師会委員が参加する。

**(IV) その他**

(1) 情報提供書兼健康診断書・西多摩市町村統一書式の取扱い運用について (大堀副会長)

★ 特養ホーム等の診断書として使用する時は診断書料をとれる。情報提供書として使用する時は保険適用する。

(2) 西多摩三師会地域医療研究会について

(玉木理事)

西多摩三師会として地域医療研究会を発足することとなった。10月14日第1回会議を予定しており、玉木先生と松原先生が委員として出席予定。

**【2】 報告承認事項****(I) 入会会員について**

— 承認 —

(玉木理事)

**【3】 協議事項**

- (I) 平成10年度自治体よりの諸手当要望について (大堀副会長)  
要望額案承認
- (II) 定款施行規則及び総会議事規則答申(案)に対する修正検討について  
討議を行った。次回理事会にて改正案を決定する。
- (III) その他  
クリスマス会予定について (片平理事)  
日時・場所、会費、内容について討議した。

**10月定例理事会**

平成9年10月21日

西多摩医師会館

**【1】 報告事項**

- (I) 都医地区医師会長協議会報告 (宮川会長)
1. 都医からの伝達
- (1) 第25回日本医学会総会事前登録について
- ★ 平成11年4月2日～4月4日まで東京国際フォーラムにて開催予定。事前登録開始は平成10年3月1日より(会費30,000円)
- (2) 東京都医師会創立50周年記念式典等について  
平成9年12月18日(木) 帝国ホテルにて施行する。
- (3) 結核の病院内感染の防止について  
最近集団感染事例が見られるので結核の感染防止について万全を期するよう。定期的健康診断を徹底するよう指導の徹底をお願いします。…厚生省保健医務局より
- (4) HIV感染防止のための予防服用マニュアルについて  
東京都エイズ診療協力病院運営協議会より医療事故緊急対応についてのマニュアルが出るので参考にしてもらいたい。
- (5) 平成9年度東京都保健サービス評価支援事業の実施について  
平成9年10月1日より実施。地区医師会よりこの事業に委員として参加することが望まれる。保健事業評価マニュアルを参照するように。
- (6) 朝日新聞(8月31日)の記事に対する対応について

(7) Fax 設置状況調査について

アンケートの結果について、A会員で75%が設置。

(8) 老人保健施設設置状況について

42施設。

(9) 「かかりつけ医推進事業」「医療機能連携推進事業」の取り組み状況について

参加が望まれる。

(10) 訪問看護ステーション設置状況について

166施設（内医師会立31ヶ所）

(11) 在宅介護支援センター設置状況について

129施設。

(12) 平成9年度要介護認定等のモデル事業の実施について

瑞穂町が指定されている。

(13) 医療に関する税制に対する意見（日本医師会）について

10月1日発行の日医雑誌にこの記事が載っている。

(14) インターネットへの取り組みについて

ホームページを開くに当って、プロバイダーを一本化する意見がある。

(15) 新規登録保険医の集団指導講習会の開催について

平成9年12月4日(木) PM1:30～ 受講対象者は平成8年12月4日より平成9年9月1日までの間に新規に登録された保険医。

2. 協議事項

なし

3. 地区医師会からの報告

(1) 東京都予算について

(八王子医師会)

①福、②障、等の予算削減の噂があるが、東京都のそれらの予算及び対象者を調査した。

	①福	②障	③親	④乳
予 算	270億円	156億円	32億円	52億円
対象者	72万人	224万人	125万人	128万人

4. その他

## (II) 各部報告

(担当部長)

- (学術) 10月18日のパネルディスカッションは多くの参加者があり大盛況でした。  
11月18日保健所と医師会共催で、Tbをテーマに講演会を予定。
- (広報) 「健やかTOKYO」の12月号に西多摩医師会の広告を掲載する。
- (地域医療) HIV事故後の対応は青梅総合病院が対応する。
- (学校医) 11月20日(木)に西多摩学校保健連絡協議会開催。  
「心の健康と学校」をテーマに中野和広先生を講師に講演会を行なう。

## (III) 各地区会よりの報告

(各地区長)

- (青梅) 地区会にて下記を協議した。
- ① 予防接種センター設置準備について
  - ② 治療証明書等について
  - ③ 定款施行規則改定委員会答申について
- (福生) 11月5日に地区会予定。
- (羽村) 特になし。
- (瑞穂) ”
- (あきる野) 10月20日地区会にて、定款施行規則改定委員会答申について協議。  
会長・理事選挙問題について不満の声多し。
- (日の出) 特になし。

## (IV) その他

## 高齢者介護支援事業説明会報告

(玉木理事)

医師会は介護認定に関わることになるが、認定対象者が増えていくと、認定作業に要する時間、労力は膨大なものと予想される。

## 【2】 報告承認事項

## (I) 入会会員について

— 承認 — (玉木理事)

## (II) 青梅簡易裁判所民事調停委員候補者の推薦について

(玉木理事)

総務一任とする。

## 【3】 協議事項

## (I) 臨時総会開催の件

定款施行規則改正案並びに議会議事規則改正案について協議、改正理事会案決定。

## (II) 新年賀詞交歓会の日程及び来賓について

(片平理事)

★ 1月24日(土) PM6:00より青梅福祉センターにて開催。

## (III) その他

国保担当主務者との懇親会日程について

(石田理事)

- ★ 11月25日(火) PM 1:30～ 西多摩医師会館会議室にて行なう。

管外理事会の日程について

12月22日(月)にする。

## 会員通知

- 学術講演会 (10/18)
- 日医1998年版医師日記(手帖)の斡旋について
- 会報
- 医療券・診療報酬明細書等の被保護者への開示について
- 捜査関係事項照会書について(依頼)
- 政府管掌健康保険者証の更新について
- 予防接種における接種不相当者について
- 平成9年度第2回日本医師会「認定産業医」の新規申請について
- 中央区医師会産業医研修会開催案内
- 帝京大学医師会「産業医研修会」開催案内
- 平成9年度多摩ブロック産業医研修会案内
- 渋谷・玉川医師会産業医研修会の案内
- 町田市医師会産業医研修会案内
- 薬剤一部負担金の取扱についての参考資料

## 医師会の動き

医療機関数	187	病院	29
		診療所	158
会員数	395	A会員	176
		B会員	219

### 会議

10月8日 理事会  
 17日 在宅難病調整委員会  
 20日 総務会  
 21日 理事会  
 22日 会報委員会

### 講演会・その他

10月8日 整備会

18日 学術講演会  
 (パネルディスカッション)  
 場所: あきる野ルピア3階  
 ルピアホール  
 JR五日市線秋川駅前(北口)  
 Tel 0425-50-4700

(プログラム)

#### 1 特別講演

「冠動脈外科と糖尿病」  
 虎の門病院循環器センター  
 外科部長 幕内晴朗先生

#### 2 パネルディスカッション

1. 「糖尿病性血管障害の経験」  
 青梅市立総合病院  
 内分泌代謝科 原 義人氏

各部だより

**学術部**  
**Information****《11月の学術講演会》**

- ① 11月13日(木) 7<sup>30</sup> pm～ 於：レストラン はいからや**  
**演題名：「高血圧と不整脈」**  
**講 師：東京医科歯科大学医学部保健衛生学科教授**  
**比江嶋 一 昌 先生**

今日、わが国で使用可能な抗不整脈薬は16種類に及んでいます。薬剤は多い方が使う側としては便利ですが、それぞれ特徴を持っているので、薬剤についての知識が十分でない、日常診療の場でそれらをうまく使いこなせないことになります。抗不整脈薬の場合、いったん使い方を誤ると、重大な結果を引き起しやすいので、薬剤に関する知識ばかりでなく、不整脈の正しい診断、患者の病態の把握、治療の要・不要の判定、至適薬剤の選択、投与期間の設定など、色々な事項をクリアして初めて薬物療法に入るべきであります。今回の講演では高血圧にからめた不整脈の話です。

- ② 11月14日(金) 7<sup>30</sup> pm～ 於：西多摩医師会館講堂**  
**演題名：「アレルギー疾患と漢方」**  
**講 師：日本東洋医学研究所渋谷診療所副所長 稲 木 一 元 先生**

シリーズ最終回です。今回は日常診療で良くみるアレルギー疾患に対する漢方薬の使い方、作用機序などにつき御講演いただきます。

**3** 11月18日(火) 7<sup>30</sup> pm～ 於：西多摩医師会館講堂

**演題名：**「過去の病気ではなくなった結核—近年の結核における診断と治療」

**講 師：**結核予防会評議員・新山手病院 盛 本 正 男 先生

この講演会は多摩川保健所・秋川保健所との共催であります。

わが国の結核罹患率は戦後において順調に減少したが、最近では減少率が鈍化し、一方ではエイズや糖尿病などの患者に合併したり、病院内集団感染や耐性菌の問題で再び注目を集めています。そこで、最近の早期発見・再発防止、強化療法の考え方など結核に関する最新情報をお話していただきます。

大事な問題です。特に病院の先生方、看護婦さんたちに聞いていただきたいと思います。保健所の企画ですので是非ご出席いただきたいと思います。

**4** 11月20日(木) 7<sup>30</sup> pm～ 於：西多摩医師会館講堂

**演題名：**「呼吸器感染症の診断と治療」

**講 師：**杏林大学医学部第一内科講師 河 合 伸 先生

呼吸器感染症に対する診断と新しい治療法、抗生剤の選択に関する講演です。今冬は呼吸器感染の増加、流行が予想されています。今後の日常診療に是非生かしていただきたいと思えます。

### 〈学術講演会聴講メモ〉

平成9年9月26日(金)

**演題名：**「脳血管障害と関連する精神症状—痴呆症と行動異常について—」

**講 師：**浴風会病院精神科医長 須 貝 佑 一 先生

痴呆症についての様々な誤解と混乱があり、年寄りの健忘、妄想、幻覚、行動異常、意欲低下、夜に通常とは異なる事を言いはじめると、みな痴呆になってしまったとみなしてしまう傾向にある。しかし知的能力低下だけでは痴呆とはいええず、生活・対人関係社会生活に支障が慢性的に続いた状態になって初めて痴呆と定義される。

痴呆の発病率は65才以上で5%、80才以上で25%と増加する。痴呆の60%がアルツハイマー型痴呆で、30%が脳血管障害、10%がその他(パーキンソン氏病、腫瘍による水頭瘤、アル中、狂牛病等)である。

老人のせん妄と痴呆の区別は紛らわしく、その時の症状だけでは、痴呆とせん妄は区別がつかない。特にせん妄と一過性脳虚血、発作は連続して発症し紛らわしい。しかし原因が明らかなせん妄もあり、薬、中毒、身体疾患のアナムネーゼを家人から聞く事が重要である。特に薬は抗ヒスタミン剤、コデイン系鎮咳薬、H<sub>2</sub>ブロッカー（これは脳血管閥門を通過する）、経口糖尿病薬（夜間低血糖発作をおこしている可能性が高い）、多剤併用、例えば Ca 拮抗剤とフラボノイド（グレープフルーツやお茶など）等が要注意である。

アルツハイマー型痴呆は原因不明であるが、病態は異常な脳細胞の老化であり、病理的にアミロイド沈着、その後のグリア細胞が見られ、脳血管障害では脳動脈の老化で病理的にはフィブリンの沈着、血栓により血流障害、中膜筋細胞壊死による支配領域の壊死が見られる。アルツハイマー型の進行のしかたは、I. 健忘期（海馬より始まる）、II. 見当識障害期、III. 生活動作障害期、IV. 身体障害出現、に分類されきわめて法則的であり、ほぼ8年で完成する。また従来言われていた欧米ではアルツハイマー型痴呆が多く、日本では脳血管障害が多いと言われたが、現在では全く欧米と日本の差は見られず、日本でもアルツハイマー型が以前言われていたよりも高率であったものと推測される。

(渡辺)

## 地区だより

### 青梅地区

## 青梅医師会・勉強会報告

第4回となった青梅医師会勉強会は、9月29日(月)午後7時より青梅市立総合病院大講堂で、青梅市立総合病院・循環器科部長の坂本保己先生を講師に、頻脈型・徐脈型心電図の診断と治療をテーマに講演を行なっていただきました。

先ず、頻脈型不整脈について、洞性頻脈、発作性上室性頻脈、心房細動、心房粗動、心室頻脈のそれぞれ心電図所見の特徴、見分け方を具体例の心電図をスライドで例示して教示していただきました。

又、徐脈型不整脈についても、洞性徐脈房室ブロック、洞不全の色々な心電図を例示し

て、解説していただきました。

治療についても、抗不整脈剤のI群からIV群までの色々な薬剤の特色、注意点について詳しく解説していただきました。

スライドの他に、各症例の心電図をプリント資料として配布してあるので、非常に分かり易く、治療前後の心電図変化も経時的に確認できて、役に立ちました。

レクチャーの後は、会員が持ちよった心電図を検討し、診断や治療方法について色々討論が続きました。

充実した2時間半の勉強会でした。次回が更に楽しみです。(広報部)



**新人紹介**

日の出ヶ丘病院 院長

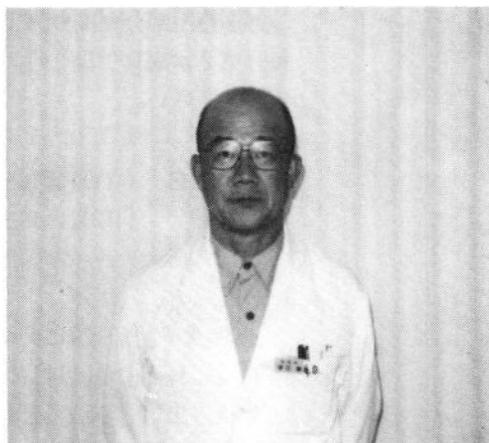
蓼 沼 翼 会 員

私は昭和44年慶應義塾大学医学部を卒業し、母校および北里大学病院で内科学、特に膠原病と感染症を学び、市中病院へ出てからは主に血液透析医療に携わってきました。

そして平成3年より現病院に勤務し、現在は老人医療に取り組んでいます。

仕事の合間に週2回立川で親しい仲間とテニスを楽しみ、夜はビールを愛飲しています。最近ベルギーのビール、特にシメイ修道院のブルーを好んでいます。アルコール度が8%以上と高く、初めて飲んだ時からその味わいに感激し、目から鱗が落ちた思いでした。ラガービールののど越しの爽快感とは違った味でおすすめます。

家族は山登りの好きな妻(49)、大学病院で内科研修中の長男(26)、証券アナリストを目指して勉強中の長女(24)、大学4年生の次女(22)の5人です。いずれもビールが好きで父親として複雑な気持ちです。



# 伝言板

## (1) HIV感染事故が起こったら！

2時間以内に治療薬内服開始が必要です。直ちに、青梅市立総合病院内科を受診して下さい。治療薬常備してあります。

## (2) 写真展開催のお知らせ

12月2日(火)～9日(火) 於：福生駅プチギャラリー

## (3) 第13回西多摩学校保健連絡協議会のお知らせ

日時：平成9年11月20日(木) PM 1:30～3:30

会場：あきる野市中央公民館 Tel 042-559-1221

講演：「心の健康と学校」

講師：中野クリニック 中野和広先生

## お知らせ

### 事務局より お 知 ら せ

12月（11月診療分）の

保 険 請 求 書 類 提 出 日

**12月8日（月）**

—— 正午迄です。 ——

### 法 律 相 談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽にご相談下さい。

- ◎ 相 談 日    11月は12日（水）  
                  12月は10日（水）の予定です。
  - ◎ 場    所    西多摩医師会館和室
  - ◎ 内    容    医療、土地、金銭貸借、親族、相続問題等民事、  
                  刑事に関するどのようなものでも結構です。
  - ◎ 相 談 料    無 料（但し相談を超える場合は別途）
  - ◎ 申 込 方 法    事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- （注）先生の都合で相談日を変更することもあります。

## 表紙のことば

これはハエを誘う植物の一種で名称は犀角<sup>さいかく</sup>という。ガガイモ科、スタペリア属。原産地は南西アフリカからタンガニカ、ケニア、東インドと広い範囲にあり、種類は百種以上ある。多肉植物で、形は小型の柱サボテンに似ている。花は星型、色は紫赤色。腐肉臭があり、美しいとは言い兼ねる。そのニオイに誘われたニクバエ、クロバエ、キンバエ等が集まるという。七月初旬に花が咲き、形容し得ない不愉快な臭気がした。ハエに人生を賭けた加納六郎名譽教授（東医歯大医動物学教室）から頂いた犀角<sup>さいかく</sup>だが、植物までハエに関係があるとは流石である。写真を見て、このハエはヒロズキンバエ（*Lucilia sericata*）の雌であると教えて頂いた。流石の二乗である。

安富一夫

## あとがき

9月1日の健保法改正（改悪？）から約2ヶ月経過しました。外総診の有無などで医療機関間に差があるかと思いますが、受診の抑制は続いていますでしょうか。

行革が省庁や族議員の反対で遅々として進捗しないなか、利権も天下り先もない一番弱い部分というのはいとも簡単に犠牲になってしまうもので、おまけに施行前後のマスコミを動員した、藁潰けだ、不正請求だといった医者バッシングが奏効し、国民の批判も免れて、まったく腹立たしい限りです。今後も更なる医療費抑制政策が待ち受け、その毎に翻弄され続けなければならないようです。

かつての強い日本医師会を懐古するのは私だけでしょうか。

田村啓彦




---

 社団法人 西多摩医師会

平成9年11月1日発行

会長 宮川栄次 〒198 東京都青梅市西分3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 樋口昭夫

石井好明 片平潤一 百瀬真一郎 高水松夫

田村啓彦 奥野 仁 小机敏昭

 印刷所 マスタ印刷 TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993
 

---



# 健康な明日へ。

大切な生命を守る医薬品を  
より速く、より正確にお届けするために  
私たちは努力を つづけています。

必要な医薬品を、必要なときに、必要なだけお届けすること。それが、クラヤ薬品の使命です。そのために私たちは、いろいろなシステムを開発してきました。

クラヤ・オーダーエントリー・システム…KOSもそのひとつ。お得意さまとコンピュータによるネットワークを結び、医薬品の自動発注から在庫管理までをこなす、画期的な情報伝達システムです。さらに、ポータブル端末による受注データ転送システム、バイクによる緊急配送システム…KESなど、お得意さまのニーズにお応えする新しい流通システムづくりを、一步一步すすめています。

医薬・医療品総合商社



クラヤ薬品株式会社

本社 〒101 東京都千代田区外神田1丁目1番5号 ☎03・253・8161(代表)

最新のテクノロジーが計測します  
そして、人の眼と心が記録します



臨床検査のパイオニア  
**保健科学研究所**

本社 〒240 横浜市保土ヶ谷区神戸町106 TEL/045-333-1661(大代表)  
仙台支社 〒983 仙台市宮城野区扇町1-3-5 TEL/022-236-9345(大代表)